

講義名	対)日本語資格試験講座 【留学生科目】			授業形態	
担当教員	安本 博司	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験N2の合格を目指し、文字語彙・読解を中心に授業を行う。また、必要に応じて文法の解説も行う。

到達目標

1. 学生がN2に合格できる語彙力を身につける。
2. 読解文で使用されている語彙、表現、文法が適切に使えるようになる。
3. 文構造が理解できるようになる。

提出課題

文字語彙に関しては、事前に問題を解いてきてもらう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の解説及び、授業内で解いた問題を解説し、質問も受け付ける。

評価の基準

期末試験（50%） 中間試験（30%） 授業への参加度（20%）

履修にあたっての注意・助言他

授業では毎回、課題を出すので、その課題を行ったうえで授業に参加すること。
 欠席は、毎回とり、全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.なし。				
------	--	--	--	--

その他

授業計画

- 1 ガイダンス、日本語能力試験の概要試験（文字語彙、読解）を行う。
- 2 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 3 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 4 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 5 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 6 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 7 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 8 中間試験（これまで学習した内容）
- 9 中間試験のフィードバック
- 10 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 11 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 12 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 13 文字・語彙（前回課した課題の解説）、読解
- 14 模擬試験を行う。文字・語彙、読解とフィードバック
- 15 期末試験（これまで学習した内容）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前学習としての課題（文字語彙）を行うこと...約1時間
 授業内で解説した箇所を確認し、解答できなかった問題を再度行うこと...約3時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内、随時質問を受け付ける。

実務経験の有無及び活用

備考